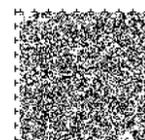


園芸ADTECセンター 基本構想 概要版

令和6年3月

福岡県



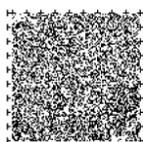
このマークは
目の不自由な方などが
使う音声コードです。

1. 構想策定の背景・目的

背景	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少による国内市場の縮小や生産力の低下に対応するため、収益性の高い農業経営の確立が必要。 地球温暖化への対応やSDGs、ワンヘルスの観点から、持続性の高い農業生産への転換が必要。
整備の目的	<ul style="list-style-type: none"> 本県主力の園芸農業の更なる収益性向上と環境負荷低減を両立する新技術の開発と普及が必要。 野菜や花き分野の先進技術開発を行う「園芸ADTECセンター（正式名称：園芸農業アドバンステクノロジーセンター）」を整備。
構想の位置づけ	園芸ADTECセンターが目指す姿や果たす役割、施設整備の方針等を具体化するもの。

2. 目指す姿、役割、体制

目指す姿	園芸農業の先進的な技術開発と迅速な現場への普及により、持続的に発展する「稼げる農業」を実現
果たす役割	<p>○ <u>収益性を向上させる技術の開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> AI等を活用した高収量・高品質栽培技術 ロボットを活用した栽培・収穫・出荷の自動化技術 など <p>○ <u>環境負荷を低減する技術の開発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 代替エネルギーを活用した化石燃料に依存しない栽培技術 AI等を活用した施肥の最適化技術 など <p>○ <u>新技術の現場実装の加速化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業・研究機関等と連携した研究の拡大と先進的な技術等の展示 開発段階から農業者ニーズを研究へフィードバック など
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">収益性を向上させる 先進的生産技術の開発</p> <p style="text-align: center;">ロボットによる超省力化 光波長の変換による多収技術</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">環境負荷を低減する 技術の開発</p> <p style="text-align: center;">AIにより栽培環境を常に最適化</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">研究イメージ図</p>
研究体制	先進的な農業者に加え、農業系だけでなく、機械・環境・情報工学系の企業や研究機関など多様な主体との連携を拡大し、新たな研究開発の体制を構築



このマークは
目の不自由な方などが
使う音声コードです。

3. 施設計画

(1) 整備方針

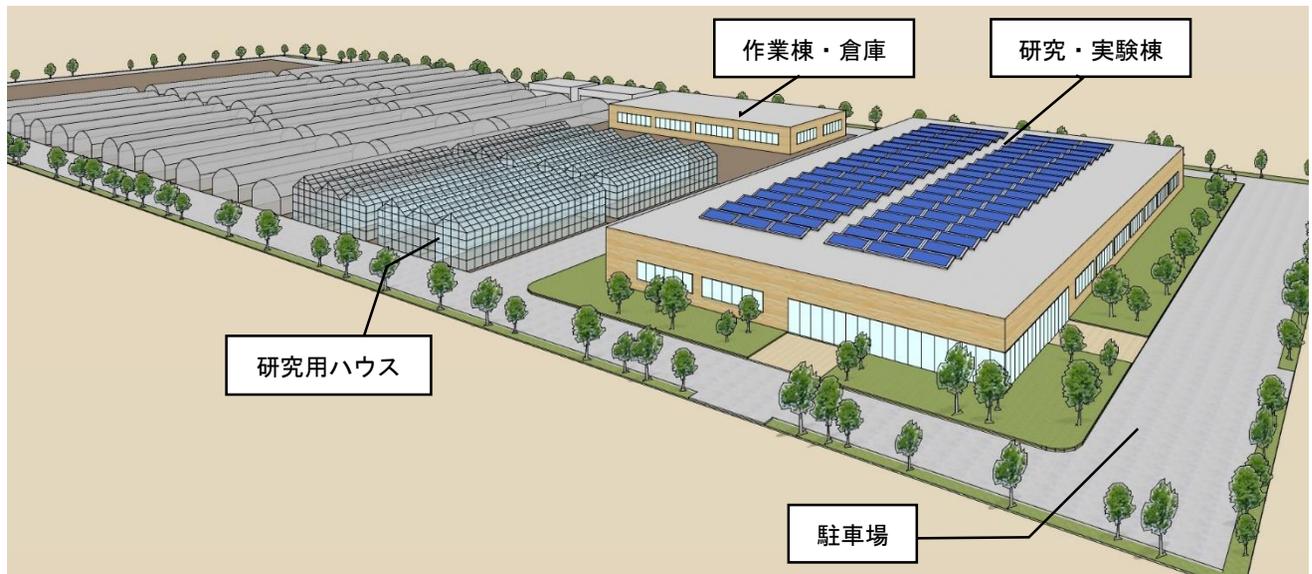
- ・技術開発期間の短縮のため、最新のハウス施設や高度な分析機器を整備。
- ・共同研究推進のため、民間企業等と共同利用する研究室などを整備。
- ・普及促進のため、農業者が先進技術や先端機器の効果を実感できるハウス等を整備。
- ・効率的かつ快適な研究環境とオフィスセキュリティを確保。

(2) 計画上の留意点

- ・機器やシステムの導入にあたっては、省エネルギーと維持管理コストの低減に配慮。
- ・耐震性や非常用電源の確保などの安全性に加え、バリアフリーにも配慮。
- ・適切な実験排水処理や照明の調節など、周辺の農地や住宅の環境や安全性に配慮。
- ・再生可能エネルギーや再生水、県産木材を積極的に活用。

(3) 建設地

- ・先進的な農業者、民間企業等との連携を強化するため、園芸農業の主要な産地である筑後地区の中から、関係機関との距離や交通の利便性等を勘案し、筑後市に設置。



イメージ図

※総敷地面積は約30,000㎡と想定

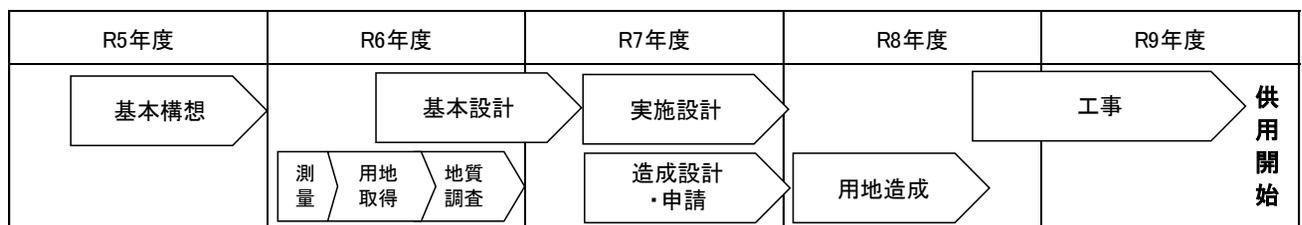
4. PFI方式導入の検討

国土交通省の「VFM※簡易算定モデル」を用いて算定した結果、VFMは-0.1%で、PFI方式を導入する方が総事業費の増加が見込まれるため、従来方式で設計等を発注。

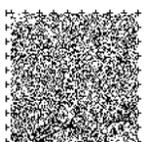
※VFM (Value for Money) :従来方式に比べ、PFI方式が公的財政負担をどれだけ削減できるかを示す割合

5. 工程計画

令和6年度から用地取得や基本設計に着手し、令和9年度中の供用開始を目指す。



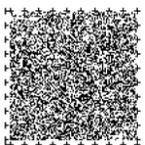
※建設地の状況によって、スケジュールが変動する可能性がある



このマークは
目の不自由な方などが
使う音声コードです。



園芸ADTECセンター基本構想[概要版]
発行日/令和6年3月
編集/福岡県農林水産部農林水産政策課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-643-3469 FAX:092-643-3470
E-mail:nousui@pref.fukuoka.lg.jp



このマークは
目の不自由な方などが
使う音声コードです。

福岡県行政資料

分類記号 PA	所属コード 4700103
登録年度 05	登録番号 0002